

# 住宅部会ゼミナール2014

## テーマ「省エネルギー住宅と今後の住宅政策」

東日本大震災から早くも丸3年以上が経過いたしました。この震災を境に、さまざまなものの価値観が変わりました。住宅についても例外ではありません。

家族の絆が見直され、省エネルギーや自然エネルギー活用に向け進化が加速し、国交省や経産省からは、ZEH普及のための計画も公表されました。同時に、高齢化の進展も大きな社会問題となっています。こうした環境下、日本の住まいは今後どうあるべきか、今一度俯瞰してみたいと思います。日本の住まいのあり方や省エネルギー住宅の今後にスポットを当て、お話いただく予定です。

- ・期日 平成26年8月22日（金）
- ・会場 日本消防会館 5階大会議室  
（港区虎ノ門2-9-6）
- ・スケジュール  
＜第一部＞
  - 14:00～14:10 開会挨拶
  - 14:10～15:10 講話  
＜第二部＞
  - 15:15～16:45 講演
  - 16:45～16:50 閉会挨拶

### 第一部 講話

#### 1. 「最近の住宅生産行政の動向」について

国土交通省 住宅局 住宅生産課 建築環境企画室長 淡野 博久 氏

#### 2. 「エネルギーを巡る状況とエネルギー基本計画の概要」について

経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 総合政策課

需給政策室長補佐 立石 裕則 氏

### 第二部 講演

#### 「省エネルギー住宅の現状とその未来」

東京大学 工学部建築学科 准教授

前 真之 氏

#### <前 真之氏プロフィール>

##### 経歴

昭和50年生まれ

平成10年03月 東京大学工学部建築学科卒業

平成15年03月 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻

平成15年04月 日本学術振興会特別研究員

平成16年04月 独立行政法人建築研究所 研究員

平成16年10月 東京大学大学院工学系研究科 東京電力寄付講座 客員助教授

平成20年03月 現職 東京大学工学部建築学科 准教授

##### 専門分野

大学院生のころより、住宅のエネルギー消費に関する研究を行う。その中で、エネルギーを多く消費しているにも関わらず、研究事例が少ない給湯に着目。実住宅での実測や実験室実験を通し、給湯使用実態の把握や、その省エネ対策の検討を進めている。

建築研究所においては、自立循環総プロにおいて給湯機の実使用効率の評価方法を構築。

現在は、大学において研究と教育の両立を模索。給湯以外にも、暖冷房・通風に研究対象を広げている。